



# 奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター  
 （奈良県保健環境研究センター内）  
**N a r a I D S C**



## ● 今週の概要

■ 今週の感染症情報

■ 気になる話題～インフルエンザ<sup>⑬</sup>～



（調査週） 平成 24 年 第 13 週 3 月 26 日（月）～ 4 月 1 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	インフルエンザ	5.80	↓	→～↓	↓	↓
2	感染性胃腸炎	5.43	→	→	→	↑
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.71	→～↓	↓	→	→～↓
4	水痘	0.60	→	→～↓	↑	→～↑
5	流行性耳下腺炎	0.51	↑	↑	↑	→

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

※吉野保健所管内でインフルエンザの警報が解除となりました（定点あたり7.00人<警報終息基準値10.00）。

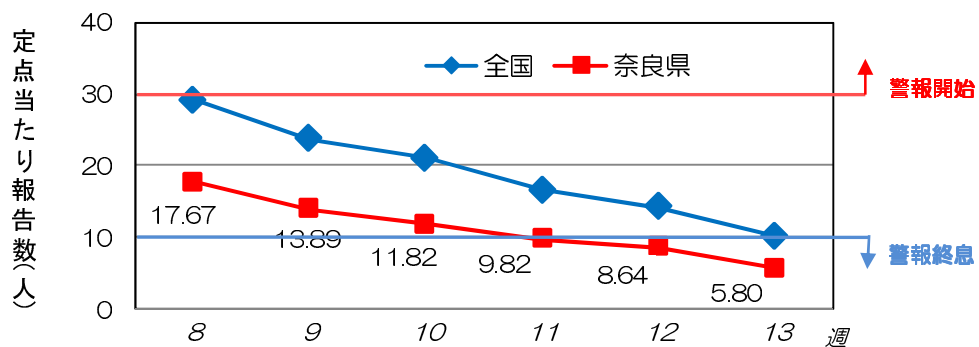
**県北部地区概況** 上位 5 疾患は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③A 群溶連菌咽頭炎、④流行性耳下腺炎、⑤水痘の順。感染性胃腸炎の報告数（84 例）は、やや増加。水痘の報告数（7 例）も、やや増加。流行性耳下腺炎の報告数（8 例）は、横ばい。インフルエンザの報告数（212→162 例）は、8 週連続で減少。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（9 例）は、やや減少。なお、インフルエンザ定点からの報告の内訳《（ ）内は定点当たりの報告数》は、奈良市 HC 管内；62 例（5.64）、郡山 HC 管内；100 例（6.25）と、両管内共に減少。奈良市 HC 管内眼科定点から、流行性角結膜炎の報告が 1 例あった。また、郡山 HC 管内基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎が 1 例報告された。（村井 記）

**県中部地区概況** 報告数は、308例から263例と減少した。上位5疾患は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎の順であった。感染性胃腸炎は、83例と横ばいであり、インフルエンザは129例と減少した。眼科定点からは、桜井保健所より流行性角結膜炎2例の報告があった。基幹定点からは、葛城保健所よりマイコプラズマ肺炎1例の報告があった。(高木 記)

**県南部地区概況** 報告数(第12週→第13週)は80例→59例と減少。報告のあった疾患は、①インフルエンザ(63例→28例)、②感染性胃腸炎(8例→23例)、③A群溶連菌咽頭炎(7例→3例)、④RSウイルス感染症(0例→2例)、⑤水痘(1例→2例)、⑥突発性発疹(1例→1例)であった。(柳生 記)

**【気になる話題 ～インフルエンザ⑩～】**

2011/12シーズンのインフルエンザの流行は、2012年第2週(1/9～1/15)に始まり、第13週(3/26～4/1)に県内全域において警報終息基準値(定点あたり10.0人)を下回りました。当センターによるウイルス解析からは、前半が香港型、後半がB型による流行であり、A(H1N1)pdm09の検出はありませんでした。



※奈良県定点あたり報告数のみ数値を記載

図. インフルエンザ定点あたり報告数の推移

表. 保健所別定点あたり報告数

調査週	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	県合計	全国
第13週 (3/26～4/1)	5.64	6.25	5.64	6.09	2.33	7.00	5.80	10.15
第12週 (3/19～3/25)	8.00	7.75	8.64	9.55	5.67	15.33	8.64	14.21
第11週 (3/12～3/18)	9.45	8.94	8.27	13.73	3.33	13.67	9.82	16.65
第10週 (3/5～3/11)	11.09	11.44	10.18	16.45	5.33	12.00	11.82	21.06
第9週 (2/27～3/4)	14.64	14.88	12.64	16.09	4.67	11.67	13.89	23.70
第8週 (2/20～2/26)	17.55	15.06	18.27	22.36	10.67	19.67	17.67	29.04

：警報レベル

(感染症情報センター 記)